

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 ナガト 海田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町月見町9番9号

(3) 業種

金属熱処理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度(2011年度)を基準年度とし、平成24年度(2012年度)から平成28年度(2016年度)までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	5,641	5,585 1.0	5,053 10.0	5,513 2.0	5,804 -3.0	5,809 -3.0	5,981 -6.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	(該当なし)						
メタン	(該当なし)						
一酸化二窒素	(微量のため未記入)						
その他温室効果ガス	(該当なし)						
温室効果ガス実排出量総計	5,641	5,585 1.0	5,053 10.0	5,513 2.0	5,804 -3.0	5,809 -3.0	5,981 -6.0
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価	前年度同様、生産量の増加および試作等のテスト処理が多かったことが影響して目標値を超えてしまった。						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 稼働時間 (1000時間)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	73.35	72.62 1.0	69.63 5.0	75.03 -2.0	66.48 9.0	65.28 11.0	63.84 13.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	(該当なし)						
メタン	(該当なし)						
一酸化二窒素	(微量のため未記入)						
その他温室効果ガス	(該当なし)						
温室効果ガス排出量総計	73.35	72.62 1.0	69.63 5.0	75.03 -2.0	66.48 9.0	65.28 11.0	63.84 13.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kt)	28.19	27.91 1.0	27.72 2.0	28.84 -2.0	25.80 8.0	25.34 10.0	24.87 12.0
実績に対する自己評価	仕事量の増加に伴いエネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量が増加傾向にある中、稼働率の見直し等により増加率を抑えることに成功し、目標を達成することが出来た。						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	稼働率の見直し	0.1%/年 削減	空炉時間の削減, 操業形態の見直し
2	燃焼条件の見直し	0.1%/年 削減	排ガス酸素濃度の測定による燃焼調整の実施
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1	(導入予定なし)	
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	事務所等照明電力量低減		不要・不在時の消灯の徹底
2	事務所等OA機器電力量低減		不要・待機電力のムダ排除
3	事務所等空調電力量低減		不要・不在時の運転停止と設定温度の省エネ (夏季: 28℃、冬季: 19℃)

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。